



グローバル COE 「新炭素資源学」 公開講座および講演会を開催

概要

資源・エネルギーの枯渇、地球温暖化や越境環境汚染など地球規模の問題が深刻化しています。これらは、福岡に住むわれわれの未来にどのように影響を与え、科学技術はこの危機を乗り越えることができるのでしょうか？九州大学グローバル COE プログラム拠点「新炭素資源学」は、3月25日（水）に、(財)アクロス福岡国際会議場で中国からも研究者を招聘し、九州大学と福岡女子大学の講師陣による炭素資源にかかわる環境・エネルギー問題をわかりやすく解説する公開講座と、中国と国内の著名な講師による、経済学の立場から議論する講演会を開催します。

■背景

地球規模の環境・エネルギー問題は全人類が認識し、解決しなければならない課題です。昨夏のガソリン価格の高騰は、現在、「喉元過ぎれば熱さを忘れかねない」状況ですが、発展途上国の経済発展は10年、20年先のエネルギー資源価格を確実に押し上げます。黄砂とともに運ばれる汚染物質や化学物質は、一昨年の光化学スモッグのように、日本国民、福岡の市民の健康を脅かしています。さらに、CO₂の発生は地球温暖化の原因とされ、現在の気候変動の原因ではないか、とされています。これらの問題は、今や日本の国だけで解決できるものではありません。とくに隣国の中国を中心とするアジア諸国と問題を共有し、ともに解決を図っていかなければなりません。九州大学グローバル COE プログラム拠点「新炭素資源学」は、石炭、石油をはじめとする炭素資源の、環境汚染なき有効利用をめざして最先端研究と若手研究人材育成を実施しています。今回、市民のみなさんに参加していただける公開講座、経済学の視点から日中が連携した国際講演会を開催し、これらの問題をともに考えたいと思います。

■内容

3月25日午前中にアクロス福岡で開催する公開講座は、九州大学と福岡女子大学から4名の講師が、地球温暖化、環境汚染、エネルギーに関する問題をわかりやすく解説します。地球規模の環境・エネルギー問題の全体像だけでなく、それらが福岡の市民にどのように関連するのか、および、日本がとるべき進路という視点からもお話しします。午後の日中の講師による講演会は、午前中よりもやや専門的な内容となり、テーマも経済学の視点から絞って議論をします。同時通訳も入っていますので、国境を越えた活発な議論が期待されます。

■効果

ガソリン価格、黄砂、光化学スモッグ、地球温暖化等が、石炭や石油のような「炭素資源」に関係していること、炭素資源は現在の人類になくはないものであるにもかかわらず、遠くない将来に枯渇の危機があり、その代替が見つからない、という問題を市民のみなさんと共有し、大学が地域や、産業界とともに国際的なネットワークを作って解決のための科学技術を作り出すことを理解していただければ幸いです。

■今後の展開

九州大学グローバル COE プログラム拠点「新炭素資源学」は、炭素資源に関わる資源・環境・エネルギー問題を解決するための問題提起と、九州大学と福岡女子大学の先端研究成果を市民の皆さんにわかりやすくお示しする企画を定期的におこないます。次年度は、秋に国際シンポジウムを開催しますが、併設して市民フォーラムの開催を考えております。

【お問い合わせ】

先端物質化学研究所所長・G-COE プログラム「新炭素資源学」拠点リーダー 永島 英夫

電話：092-583-7616

FAX：092-583-7619

Mail：ncrs@cm.kyushu-u.ac.jp